

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成29年1月30日

協議会名: 釧路市地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路市の概況整理</li> <li>・公共交通網の現状調査</li> <li>・公共交通の利用実態調査</li> <li>・公共交通の課題整理</li> <li>・公共交通網再編を見据えた関連施策の整理</li> <li>・地域公共交通網形成計画の検討</li> <li>・協議会、専門部会の開催支援</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全バス路線を対象とした「バスOD調査」や、市民を対象としたバス利用に係る「アンケート調査」等により、現在のバス路線における客観的なデータ及びニーズ、利用実態を把握した。</li> <li>・各種調査結果等を踏まえ、協議会の検討を経て、今年度中に素案を作成、次年度にパブリックコメントを実施し、地域公共交通網形成計画の策定を行う。</li> </ul>	<p>A</p> <p>当初予定していた各種調査を終え、当該事業は計画どおりに適切に実施されている。</p>	<p>本市においては、多くのバス路線が釧路駅前バスターミナルを起終点としており、北大通等においてバス路線の重複が見られる。これら重複路線の解消及び効率的なバス路線網の構築に向けては、バス路線における幹線を位置付け、幹線を軸とした再編を行うことが重要である。</p> <p>また、効率的なバス路線網の構築に向けては、本市が策定を進めている立地適正化計画の考えに基づき、わかりやすく、効率よく拠点間を連絡するバス路線網の構築が必要と考える。このことから、市内における利用者が多く、かつ幹線付近に位置する施設を活用した乗換拠点の機能強化を行う。</p> <p>さらに、住宅街等のエリアを域内交通エリアと位置付け、バス路線網の効率化による域内交通エリアにおける利便性向上など、利用者増加に向けた各種施策を行う。</p> <p>一方で、バス路線網の再編と合わせて、利用者にとって使いやすくなりやすい運賃体系の構築や、わかりやすいバスマップの作成、乗換拠点におけるバス交通の情報提供など、公共交通における利用環境の整備を行う。</p> <p>持続可能なバス路線網の構築に向けては、市民の公共交通に対する意識の醸成を図ることが重要であり、小学生を対象としたバス交通に関する出前講座の開催や転入者・来訪者を対象としたバス交通に関する情報提供など、各種モビリティ・マネジメント事業を実施する。</p> <p>市内に存在する交通不便地域の改善に向けては、コミュニティバスやデマンド型交通の導入等、効率的で利便性の高い生活交通の確保を行うものとする。</p> <p>本市は、東北道の拠点都市として位置付けられており、周辺市町村をはじめ、全国から多くの来訪者が訪れる。これら来訪者の移手段の確保を目的として、生活面や観光面などの観点からもバス交通の強化に努める。</p>